

一般質問通告内容

(令和7年定例会3月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
7	西田 祐子 (議席番号 12番)	1. 廃屋・空き家対策について (1) 廃屋（特定空家等）について 白老町空家等対策計画の令和4年度の空き家等実態調査で、空き家総数は513戸、そのうち総合評価D判定49戸、E判定10戸となっています。 ① 第2期計画の白老町空家等対策協議会の委員の人数、職種、協議会の開催回数を伺います。 ② 昨年12月議会で町長は「行政代執行も視野に入れた検討も考えている」と答弁されましたが、空家等対策協議会でどのような議論が進んでいるのか伺います。 ③ 空家等解体支援事業費300万円は、廃屋（特定空家等）解体と連動しているのか伺います。 (2) 空き家について ① 計画では利活用が可能な総合判定AとBは266戸あるとしていますが、施策3、空き家等の適切な管理における、「所有者等への啓発」の状況について伺います。 ② 施策4、空き家等の流通・利活用の促進で、「専門的な相談窓口の構築」とありますが、専門家とはどのような方か、また流通・利活用の具体的な方法を伺います。 ③ 体制の整備として、「各種団体との協定を締結」としてはいますが、具体的な団体を伺います。 答弁を求める者 町 長